12支部連合会 今年度事業計画

北海道支部連合会
提案力向上へ連携

桑島繁行会長

日頃から日本旅行グループ並びに連盟会員の皆さまからの多大なるご協力に心から感謝申し上げます。

さて昨年度の北海道観光は、LCC利用拡大やインバウンド需要増の影響で、入り込みは拡大しておりますが、地域間需要格差や2次交通の課題（貸切バス不足等）など、多様化する顧客ニーズに対して、業界全体として完全に対応できていないのが現状です。

北海道への観光誘致については、日旅連とNicの協働組織「北海道赤い風船会」を通して引き続き活発に実施してまいりました。

活動の中心である「プロモーション委員会」では、5月に来道の首都圏店頭担当者研修団に対して、札幌で観光素材説明会を実施いたしました。また、継続事業である日本旅行北海道旅プラザ時計台店プロモーションとして、北海道内各地域の観光協会・会員施設の皆さまとタイアップし、月替わりでインフォメーションコーナー設置・専用商品発売・店頭イベントを連動した形で行っております。

「宿泊ネット販売推進部会」では、赤い風船事業部と共同運営の赤い風船北海道スペシャルサイト上で、2カ月ごとの「地域特集」を実施し、加えて時計台店プロモーション専用商品等の地域に特化した商品販売も行いました。「観光部会」では、引き続き東日本営業本部団体送客キャンペーンと連動した会員施設立寄促進施策を実施しました。

「インバウンド誘致推進部会」では、台北駅での日本の観光・物産博への協力や、日本旅行北海道国際旅行事業部実施のビジットジャパン事業（タイ・セルフドライブ研修、マレーシア・MICE研修）の参加者との意見交換を実施し、ハラル等の関連情報交換や知識向上にも努めました。「プロック会」では、各地で会議を開催し、会員施設さまだけでなく、地元行政・観光協会の皆さまや日本旅行北海道地元支店のスタッフにもオブザーバーで参加いただき、意見交換や商品設定を行いました。

今年度においても、これまで以上に北海道赤い風船会を通じて、会員施設の皆さまとの一体感を高め、日本旅行グループへの提案力を高め、連携を図ってまいります。

また、営業本部と連携した個人および法人誘客のためのキャンペーンの実施、赤い風船北海道スペシャルサイトのさらなる充実、プロック会を通した各地域との連携強化等、これまでの活動をより深度化し、日本旅行グループ中期経営計画に連動した事業内容を展開していきます。

今年度も引き続き、会員の皆さまのご協力と日本旅行グループのご支援をお願いいたします。

東北支部連合会
二つの風に向かう

菅野豊会長

あの忌まわしい震災から早や3年を迎えようとしておりますが、全国の皆さまより引き続いての心温まるご支援と応援をいただき心より感謝申し上げます。

さて昨年は、NHK大河ドラマ「八重の桜」や朝ドラ「あまちゃん」の放送、春の仙台・宮城DC、秋の秋田DCと、私どもにとっては、年間を通じて東北への追い風が吹いた1年でした。おかげを持ちまして、その追い風を取り込みながら、北東北、南東北単位での活動を活発化した結果、一定の宿泊券実績を挙げることができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物と重ねて御礼申し上げます。

さて本年ですが、復興へ向かう過程での震災の記憶の「風化」と依然とした原発事故の「風評」という二つの『風』に向かい合いながら「東北ならでは」の魅力と観光素材の再発掘やブラッシュアップに取り組み、継続した情報発信と誘客活動の強化を図る重要な1年になると考えております。各支店や赤い風船事業部で活用できる団体・個人向け商品素材の提案拡大、とりわけ団体についてはMICE素材の情報発信を強化してまいります。

また、昨年に引き続き、教育旅行を中心とした誘致キャラバンや今後増加していくインバウンド誘致キャラバンを深度化してまいります。

平行して、日旅東北管内支店との関係強化を進め、域内需要の取り込み強化を図ります。

いずれにしましても、昨年同様、県を跨いだ北東北・南東北という広域単位で誘客事業を展開し、エリアの魅力を発信し続けてまいります。

本年も山形DCや福島プレDCの開催、三陸鉄道の全線運転再開等、東北に目を向けていただける環境が整っております。私どもこの機会を逃すことなく、東北仕入販売センターと連携しながら誘致事業を展開し、会員各位の宿泊券販売拡大に邁進してまいります。

当連合会にとっては、本年はもう一度足元を固め、純粋に観光を目的としたお客さまの誘致に取り組む1年と位置づけております。引き続き会員一丸となってがんばってまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新潟支部連合会
DCへ連携強化を

浅野謙一会長

本年、日旅連新潟支部連合会管内では4月～6月に新潟デスティネーションキャンペーンおよび6月14日～9月13日に山形デスティネーションキャンペーン（旅連管轄・庄内地区）が開催されます。新潟県は8回目、山形県は6回目となり官民連携による協力体制の強化を図り、各県の情報を発信してまいります。

新潟県の魅力としては、季節によってさまざまな風情を五感で楽しめること。「彩とりどりの春めぐり」。さまざまな魅力がある新潟の春の自然、食、歴史、文化、人にふれあう旅を提供し、誘客に努めてまいります。昨年に引き続き新潟県旅館組合青年部による「にいがた朝ごはん」のさらなる深度化、「にいがた地酒の宿」を昨年に引き続き展開しております。

山形県の魅力として、日本人の心のふるさと、美しい山形を実感できる滞在型の旅の提案を展開してまいります。日旅連として首都圏・関西圏向け企画商品の展開を行い、「新潟県・山形県（庄内地区）への誘客事業」を重点事業として取り組んでまいります。

①宿泊券販売の拡大として、新潟DCテーマでもある「食」「花」「雪」「酒」「匠」を中心に地域の観光素材のブラッシュアップを推進し、さらに魅力ある観光企画の創出に向けた取り組みを強化いたします。そしてその地域観光素材は、「着地型商品」への活用と造成、ならびに「Web商品」や「宿ぷらざ」への展開も並行して行ってまいります。また、DC期間の4月12日には東京より団体臨時列車の運行をし、新潟県の魅力を創出してまいります。

山形DCテーマ・懐かしさ、美味しさ、温かさ、奥深さ、日本人の心のなかにある「ふるさと」の懐かしい風景、文化、祭り、また、四季折々の果物、豊富な山の幸、海の幸、全国屈指のブランド牛、日本酒やワインなど魅力的な食、温かい人情とおもてなしの心を中心に展開してまいります。

②団体販売強化施策として、「新潟への入り込み団体支援」として一般団体、教育旅行、MICE、BTM、インバウンド団体獲得支援を行ってまいります。

③宣伝活動として、官民連携による首都圏・関西圏への商談会への協力、主要エリアへの誘客・販売促進活動を行ってまいります。

④新潟県アンテナショップ「東京ネスパス」会員向け企画商品の展開、店頭イベントへの協力体制を強化してまいります。

⑤日本旅行の事業計画と連動した事業を推進。

これらのさまざまな事業展開は、日旅連のみならずNic新潟地区会と共同で取り組んでまいります。また、県をはじめとした地域行政・観光協会との連携が必要であり、さらなる連携強化をしてまいりたいと考えております。

関東支部連合会
域内交流の強化へ

森田繁会長代行

昨年6月千葉会長のご逝去により会長代行を務めております〝森田繁〟でございます。改めまして、ごあいさつ申し上げますとともによろしくお願いいたします。

さて、昨年の当支部連合会は東京ディズニーリゾート30周年、東京スカイツリー効果などで、震災前を超える高い実績となりました。

併せて、事業計画でもお陰様をもちまして、ほぼ所期の目的を完遂することができました。ここに会員皆さまの努力に敬意を表すと同時に、日本旅行の大きなお力添えに心より感謝申し上げます。

こうした状況下、今年度事業といたしましては成果の継続と課題解決に向け活動を推進してまいります。

事業方針として、①実利に直結した事業を深度化させ成果をより確実なものにすること②会員メリットを追求し結果が実感できる取り組みとする③日本旅行の「ビジネスモデル転換の早期実現」と連動した一体活動を進める④支部営業推進委員会による誘致活動の強化など、骨格として取り組みます。

具体的な事業活動としては営業本部「地域キャンペーン」への新観光素材・情報を行政と連携して提供します。団体支援策として、MICE、教育旅行、インバウンドの業態別にマニュアル制作、ナレッジバンク登録、現地研修会など販促支援強化に努めます。赤い風船の「シニア」「熟年層」「女子旅」「WEB」向けに支部・地域の個性を活かした魅力的な旅行素材の企画提案や販売店支援をします。

一方、会員サービスの充実に向け、日旅連「R（レン）マーク」告知徹底、業成果をボトムアップしていきます。

また、今年度は来年3月の北陸新幹線開業、4～5月の善光寺御開帳に向け営業推進委員会を中心に法人、個人への誘客策を決定し新たなマーケットの開拓を推進してまいりたいと考えております。信州長野県は8県と隣接しているため広域観光圏の整備の点から北陸・中部・関東・新潟の各支部連合会さまと連携を取らせていただき相互に地域の魅力を発信し、お互いに誘客、送客事業に発展させていくことが今後必要と考えておりますので、さらなる連携強化と関係各位のより一層のご支援をお願い申し上げます。

強会、会員パスポートの改訂、日本旅行グループによる支援事業の強化、事務局支店への顧客紹介運動など、会員特典を実感できる活動も並行して進めます。

まとめとして今年度の重点事業として、首都圏の旺盛な旅行需要を関東支部連合会内に広く取り込むため、域内支部連携事業として「首都圏＋1（プラスワン）」〝関東近郊ハブ事業〟を推進します。その一環として、事業先行のため、MICE、教育旅行、インバウンドの受地モデル支部・地区（特区）を設け、その成果をボトムアップしていきます。

長野支部連合会
新たな市場を開拓

齊藤茂行会長

昨年長野で開催させていただきました「第21回RENCUP in 長野」では、全国より182名（ゴルフ参加者167名）という多くの皆さまにご参加いただきました。各連合会の皆さまのご協力をいただき無事に開催できましたこと、深く御礼申し上げます。

専用ページ「なないろ信州旅日記」を活用し、赤い風船やWebの専用商品化をさらに強化してまいります。具体的には、昨年まで支部作成の地区商品を全てWeb商品に切り替え事業費をお客さまへのオリジナル特典や二次アクセス強化に投入し拡大を図り、シニア層・女性層への取り組みも強化してまいります。

法人部門においては、信州日修会会員拡大を図り、将来的には地域素材を生かしたグリーン期への誘客活動を展開し年間を通して学生団体を受け入れる環境の整備を構築してまいりたいと考えております。

中部支部連合会
環境の変化に対応

金原貴会長

背景に景気が緩やかに回復する中、各種イベントもあり、国内旅行需要が大きく喚起された1年でした。

当中部支部連合会管内におきましても、6月に富士山が世界文化遺産に登録され、三重県では、20年に一度の「第62回伊勢神宮式年遷宮」が行われるなど、明るい話題と大きなイベントに恵まれ、全国から多くのお客さまにご来訪いただきました。

富士山をテーマとした専用商品につきましては、日本旅行の全造成箇所で設定していただきましたし、伊勢神宮式年遷宮行事では7・8月の「お白石持ち行事」をピークに日本全国からたくさんの団体・個人のお客さまをお迎えすることができました。

今年度につきましても、「浜名湖花博2014」「熊野古道世界遺産登録10周年」「志摩スペイン村20周年」といったイベントが続きます。昨年に引き続き、より多くのお客さまをお迎えできるよう、商品設定を含めた受け入れ態勢の整備に努めてまいります。

当連合会の今年度の重点取り組みとして、日本旅行の営業施策と日旅連本部の事業と連動し、営業推進委員会を中心とした各地区の誘客支援事業の活性化を推進してまいります。

「赤い風船」商品においては、期首商品での魅力ある素材提供はもとより、中部WEBデスクと連携した期間限定プランや地域のオリジナル素材を組み込んだタイムリーな商品設定、女性・シニアをターゲットとした特色あるツアー開発に全面的に協力してまいります。

平素は中部支部連合会の活動に対し、皆さまからの多大なるご支援・ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

2013年度は、政府の経済政策に対する期待感を背景に景気が緩やかに回復する中、各種イベントもあり、国内旅行需要が大きく喚起された1年でした。

また、教育旅行・MICEの需要を取り込むため、地域行政と連携した適地開発と特色のある素材の情報提供を行うとともに、「昇龍道プロジェクト」と連動したインバウンドの取り込み強化についても、中部営業本部と共同で取り組んでまいります。

日旅連本部営業推進委員会が推進する「新観光素材ライブラリー」への登録推進、「地域を元気に」する誘客事業展開、WEB商品への素材提案につきましても、取り組み強化を図ってまいります。特に新観光素材の提案につきましては、2015年3月の北陸新幹線開業によるお客さまの流動の変化に対応すべく、北陸や長野からより多くのお客さまに中部に足をお運びいただけるよう、隣接エリアとの連携を深め、前広な素材開発・提案に努めてまいります。

日本旅行と日旅連が相互の信頼関係の下、さらに強固な協力体制を確立するために、環境の変化にしっかりと対応した事業推進を行ってまいります。これからも皆さまの絶大なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

月替わり懐石「千姫御膳」厳選料理
※献立は毎月替わります。
千姫物語では「安心・安全」な厳選された食材、そして、新鮮な野菜、果物、山菜等の農産物をお客様に提供致しております。

月替わり懐石料理の宿　花衣の館 日光 千姫物語
〒321-1432 栃木県日光市安川町6-48　TEL.0288(54)1010　http://www.senhime.co.jp/

“The オーシャン倶楽部”

沈む夕陽に時間の流れを忘れるひととき。
風の音、潮の香り、湯のぬくもり、すべてが最上級。

海を一望できる新ダイニングレストラン。
“源泉蒸し”をはじめ汐美荘の旬が揃う。

新潟県／瀬波温泉　政府登録国際観光旅館（登録1346号）
夕映えの宿 汐美荘
予約専用ダイヤル | 0254(53)5858
〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2丁目9番36号
http://www.shiomiso.co.jp　夕映えの宿　検索

宿泊増売へ会社と連携―日旅連

日本旅行協定旅館ホテル連盟の全国12支部連合会長に、各連合会の今年度事業計画をアンケート形式で聞いた（①連合会、支部事業で、今年特に力を入れていること②地域キャンペーンの展開について③連合会、支部の特別企画商品について④連合会、支部の宣伝活動について⑤各種委員会の活動について⑥日本旅行に要望すること⑦傘下の会員に要望すること⑧その他）。

北陸支部連合会
「プレ開業」を意識

八木眞一郎会長

日頃は日旅連事業に対し格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年はアベノミクスによる景気回復が進んだ中で、私たち業界にも明るい兆しが見えてまいりました。6月の富士山世界遺産登録、9月東京オリンピック開催決定、12月には和食の世界無形文化遺産登録、そして年末にはインバウンド旅行者1125万人達成という大きな話題がありました。

このような中、当支部連合会として昨年は、3月に関西エリアでの支店販促、夏にはJR西日本様が展開する北陸プロモーションと連携した「加賀越前CP」の実施、そしてこれと連動したTiS大阪での店頭販促、また北陸ならではの女子旅の商品化と女性・シニア向けの素材提案等々各日本旅行様のご協力をいただきさまざまな形態・チャネルへの施策を実施してまいりました。

今年は北陸新幹線開業が1年後に控えた大切な年であります。個人および団体商品については、「プレ開業」を充分意識した各施設の魅力や地域の魅力を最大限に発信することに重点的に取り組みます。北陸エリアがもっとも得意とする「おもてなし」と「和食」を前面に押し出しながら本部営業推進委員会と連携した個人型・団体型の観光素材をブラッシュアップ、そして行政と連携した旬な素材を発掘・商品化を行いリアルやweb等さまざまなチャネルにて販売できる整備拡充を行ってまいります。そして今年10月にはJRDC全国会議が北陸で開催されます。DC開催に向けて素晴らしいスタートが切れるよう北陸3県の行政そしてJR様と連携した素材整備を進めてまいります。

また、今年は北陸3県からの首都圏への販促活動が大幅に増えることが予想されます。当連合会としても積極的に事業展開を進めるとともに、従来から大きな送客ボリュームのある関西圏についてもより一層充実した販促施策を実施していきたいと考えております。

今年は正念場の1年です。できることを確実に行い未来へのスタートの年とし来年はもちろんその先を見越した取り組みを加速していきたいと考えております。関係各位のより一層のご支援をよろしくお願いいたします。

関西支部連合会
商談会で企画提案

田岡茂会長

日旅連会員の皆さまには平素より格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当関西支部連合会は近畿2府4県と岡山県、鳥取県、島根県を加えた2府7県、11支部で構成されています。

当連合会管内の今年のイベントとして平成26年の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年を契機に和歌山県とJRグループで連携して和歌山デスティネーションキャンペーンが9月14日から12月13日まで展開されます。

本年のNHK大河ドラマ「黒田官兵衛」に関連して姫路市では姫路城南側家老屋敷跡公園にて「ひめじの黒田官兵衛大河ドラマ館」が、同時期、姫路城内にて「官兵衛の歴史館」がオープンしたのを始めとして黒田官兵衛に関係する兵庫県の各地区で催し物が開催されています。また黒田家の源流の地、滋賀県長浜市でも「黒田官兵衛博覧会」が2会場で開催されています。

これにより関係県はもとより隣府県にまたがる広域観光コースの提案で広範囲の誘客に波及することを期待しています。

当連合会は本部事業と連動しながら「宿泊販売の拡大」をテーマとして中核組織の営業推進委員会を中心として事業活動に取り組んでまいります。

団体拡大策の一つとして、昨年は他の支部連合会と共同で2月に岡山市で、7月に大阪市でそれぞれ日本旅行西日本本部の地域のセールスマンとの商談会（ワークショップ）を実施し、施設および地区の旬の受け入れ団体情報を提案しました。

今年も昨年同様、日本旅行セールスマンとの商談会（ワークショップ）を計画していますが、7月にはより多くの支部連合会に参加いただき、セールスマンに提案する施設企画提案書・地域観光情報の充実を図りたいと考えています。

また宿泊販売につながる「地域を元気にする」誘客事業として連合会地域内の着地型素材、イベント、行政との連携事業等を会社側へ提案してまいります。

最後になりますが当連合会への皆さまのさらなるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

中国支部連合会
旅への動機付けを

梅林保雄会長

昨年は、春の「ひろしま菓子博」、夏の「広島デスティネーションキャンペーン」と、広島県については一昨年に続き全国から注目を集めた年でしたが、山口県では大きなイベントもなく、また7月末の豪雨によるJR線の不通や、それに伴う「SLやまぐち号」の運転休止などが一斉に大きく報道されたこともあり、観光行楽には支障がないにも関わらず大きな痛手を被る年となりました。

今年は、観光イベントとしては広島県・愛媛県の沿岸部・島しょ部で開催される「瀬戸内しまの2014」があります。また取り巻く環境として、4月からの消費税増税前の駆け込み消費に期待のかかるところですが、その後の反動による消費停滞も懸念されます。一方で一昨年からの経済政策による円安基調が続くとみられ、訪日外国人数の増加が後押しになるものと考えられます。旅行需要を見ていくと、旅行意欲の高いシニア層を中心に質の高い旅行を求める傾向がさらに強まるものと考えます。旅行購買層の中心は、人口シェアの縮む若者からシニアへの明確なシフトと女性を中心としたものに移っています。

いかに私どものエリアに旅行に来ていただくか。それは旅行したいと思っていただく動機付けと旅行満足度の最大化が必要です。

「旅行して良かった、また行きたい」と思っていただくサービスを、お越しいただいたお客さまに確実に提供することが求められます。〝良い旅は癖になる…〟。

今年も日本旅行や関係機関との連携により、旅行意欲をかき立てる観光素材の的確な情報発信と具体的商品化、おもてなしホスピタリティの発揮により熾烈を極める旅行目的地間の大競争を勝ち抜き、宿泊販売の拡大を図ってまいります。

引き続き、会員皆さまの一層のご協力をお願い申し上げます。

沖縄支部連合会
体験メニュー充実

照屋修興会長

平素は、日旅連沖縄支部連合会の活動に対し、皆さまから多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

平成25年沖縄観光入域者数は、県が目標と掲げた630万人を達成し外国人観光客も目標50万人を11月末の段階で達成する等、過去最高の入域客数を実現いたしました。また、昨年3月開港の日本最南端の国際空港である新・石垣空港は新たな観光需要を確実に創出し、入域客目標80万人に対し94万人超と大幅超過達成を実現する等、沖縄全県の観光産業において明るい話題の絶えない良き1年でありました。

私たち沖縄支部連合会は、この昨年の成果をステップとして、株式会社日本旅行様の中期経営計画2カ年目の指針同様「ビジネスモデル転換の加速化による更なる着実な成果の実現」に向けて本年も邁進しています。

さて、沖縄における「ビジネスモデルの転換」とはどのようなものであるか。東日本大震災からの回復基調を実現した一昨年から昨年の動向・施策を総括し、本年の事業指針をお話しします。

法人営業においては一昨年一般団体30%増の大幅拡大、昨年はそれを上回る実施団体数をご送客いただきました。牽引したのはMICE団体でありました。この分野でのさらなる営業成果に貢献するべく、当連合会は昨年11月に加盟会員向け「MICEセミナー」を開催し、専門講師による講演と討議を行い沖縄MICEがさらに発展するために宿泊施設が取り組むべき課題を検討・抽出いたしました。また、教育旅行団体の一昨年・昨年の獲得拡大に向けた営業のご努力は、本年過去最高の取り扱い人員数をご送客いただける見込みとなりました。当連合会はこれにお応えするべく本年「MICE教旅向け体験メニューの充実」に取り組んでまいります。インバウンド営業においては一昨年・昨年と倍・倍の大幅拡大のご送客をいただきました。当連合会は国際旅行事業本部、インバウンドMICE営業部様と連携し、昨年海外旅行社招聘事業を実施し成果の一助となったと自負しております。本年もさらに強固な連携と施策の推進に努めてまいります。

個人旅行営業においては、昨年来「女性・シニア層が楽しむ沖縄とは何か」という新たな課題をご提起いただきました。将来への重点顧客に満足をいただける魅力をご提供するべく本年当連合会営推委員を中心にさらに研鑽し、より多彩な宿泊企画をパンフ・ネット両面で実現し、販売成果貢献に努めます。

今年は午年。馬は視野が広く左右の目で別々のものが見えるそうです。広い視野と多様化する需要に的確に予見即応し、株式会社日本旅行様への貢献に会員一同鋭意努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

四国支部連合会
〝周年行事〟と連携

宮村耕資会長

平素は、日本旅行グループ並びに連盟会員の皆さまより多大なるご支援ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年の業界の動向は、東日本においては話題の連続テレビ小説効果による三陸地域をはじめ、世界文化遺産登録の富士山関連地域、そして30周年を迎えたTDLを中心とした首都圏近郊が賑わい、中日本そして西日本においては二大大社の遷宮に際し周辺温泉地へ多くの観光客が訪れておりました。

このような状況下のもと、四国においては非常に厳しい環境が強いられることを覚悟のうえ臨んだ1年ではありましたが、ご周知のとおり4月～9月において地域を元気にするプロジェクト「きらり四国キャンペーン」が展開され、初期の目標には到達できなかったものの、会社側と旅ホ連との連携が功を奏し前年を上回る実績を残すことができました。

ご支援ご協力を賜りました関係各位にかさねて厚く御礼申し上げます。

さて、本年の四国は四県にわたり周年行事の年となっており、四国霊場開創1200年、瀬戸内海国立公園指定80周年、室戸阿南海岸国定公園指定50周年、剣山国定公園指定50周年、道後温泉本館改築120周年など、これらに則したイベント等が各地において盛りだくさん計画されております。

とりわけ、四県に共通した四国八十八カ所霊場では各寺院において、記念の年として普段は目にすることのできない各寺院の秘仏や本尊などを特別公開するほか、独自のお接待が計画されており、四国各地における既存観光地と特定寺院を組み合わせた心の安寧と日々の活力につながる、新たな旅行の楽しみ方がご堪能いただけます。

これらに加えて当連合会といたしましては、四県それぞれ開催される個性的な各周年イベントや企画と連携した魅力ある誘客素材を既存の商品媒体のなかで最大限訴求いたし、特別感を高めさらなる誘客に努めてまいりたく願っております。

本年も会社側が昨年より推進されております〝新・中期経営計画「ACTIVE2016」に準じた営業戦略に連動した事業を引き続き展開してまいりますのでなお一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

九州支部連合会
縦から横ラインへ

高島淳一会長

昨年の総会において、小林会長のあと連合会長を仰せつかり早1年になろうとしています。昨年は、伊勢神宮式年遷宮、出雲大社大遷宮そして、東京ディズニーリゾート30周年と大きなイベントが重なり九州にはアゲンストの風が吹いていましたが、何とか九州全体では前年比103%と伸ばすことができました。これは各方面の皆さまのおかげだと深く感謝申し上げます。

本年度の取り組みといたしましては、九州新幹線全線開業から4年目を迎え、縦のラインから横のラインへ波及させるべき取り組みを推進させ、九州全体が元気になるよう活動してまいります。

まず個人旅行においては、4月から実施される赤い風船事業部の「大分・熊本・長崎キャンペーン」に営業推進委員のメンバーを中心に関係地域の観光行政の協力も得て、全力でバックアップしてまいります。

また、まだまだ伸びているインターネット商品についても各支部単位、地域単位でのテーマを創造し、四季に適応した商品提案を行い、販売拡大を目指します。

団体旅行については、九州仕入販売センターが中心となって進めているユニット商品に当連合会としても最大限協力を行い、訴求力のある商品になるようにサポートをしてまいります。

また団体ユニットの宣伝活動も九州域内支店はもちろんのこと中国、西日本、東日本等営業本部管内支店へも営業推進委員のメンバーを中心に誘客宣伝にキャラバンを実施してまいります。

次に、訪日旅行ですが、政治問題で一直線に拡大までには行かないまでも着実に増加してきています。日本政府観光局は、訪日外国人数が昨年末1千万人の目標達成したことを発表し、2020年までには新たに2千万の目標設定がされました。

日本旅行では昨年よりインバウンド誘致の一環として、台湾での「日本の観光・物産博」を開催しており、今年で2年目になります。当連盟としても昨年に引き続き台北駅での九州誘客イベントおよび高雄、台中で現地旅行社との商談会を計画しています。訪日観光客はこれからの大きなマーケットになっていくと考えています。

本年度は、消費税率の引き上げ等のリスクはありますが、昨年10月15日から運行開始となったJR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」など九州には魅力ある観光素材がまだまだたくさんあります。これらの観光素材を日本旅行、日旅連、そして地域観光行政とも連携をとり、九州への誘客に努めてまいります。今後も会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎駅から徒歩5分。
観光やビジネスの拠点に大変便利な立地です。

長崎 稲佐山観光ホテル　長崎市曙町40-23　FAX(095)861-4203　www.inasayama.co.jp　TEL095-861-4151　ikh-info@inasayama.co.jp
稲佐山観光ホテルグループ　長崎I・Kホテル　長崎市恵美須町7-17　TEL095-827-1221 FAX095-827-1241

フード・アクション・ニッポン・アワード
「食べて応援しよう！賞」3年連続受賞

30種類のお風呂で湯舎（ゆや）めぐり

ふくしま磐梯熱海温泉
ホテル華の湯 HANANOYU
〒963-1387福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60
024-984-2222

世界に認められた 極上の「和リゾート」
山ふところのおもてなしの宿　扉温泉「明神館」
現代の遊び感覚、ホスピタリティが融合した、上質のスパ&リゾートです。
明神館　RELAIS & CHATEAUX.
〒390-0222 長野県松本市入山辺8967　TEL.0263-31-2301　FAX.0263-31-2345　www.tobira-group.com

扉
「信州 松本の魅力」とともに

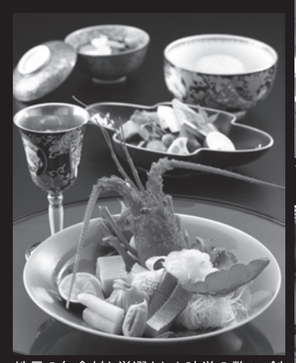
城下町 松本を愉しむ「街のコンシェルジュ」
国宝 松本城をはじめとする文化財の多い観光エリアの中心にあり、
市内を散策するのに適したホテルです。
松本丸の内ホテル MATSUMOTO MARUNOUCHI HOTEL
〒390-0874 長野県松本市大手3-5-15　TEL.0263-35-4500　FAX.0263-35-4505

五感を潤す湖畔の宿で一期一会の心に癒される。
湖面を渡る風、心に響く情景。
ここは上質な大人の時が流れる

琵琶湖を一望する解放感抜群の展望風呂「三上の湯」

凛とした雰囲気の中、静寂のロビーから望む旅情漂う中庭に心が和む

ワンランク上の空間「京近江」に用意された、風光明媚な露天風呂付客室

おごと温泉最大の規模を誇る宿。観光の拠点として利用したい

地元の旬食材と厳選された味覚の数々、創意工夫を凝らした会席料理の一例

ラウンジ

宴会場「一条の間」
びわ湖畔　おごと温泉　琵琶湖グランドホテル　Tel077-579-2111　（予約専用）077-579-0111
琵琶湖グランドホテル別館　京近江（きょうおうみ）　Tel077-577-2211　（予約専用）077-577-2000
〒520-0101 滋賀県大津市雄琴6-5-1　http://www.biwakogh.co.jp